

## ナラ枯れ防除事業（面的防除実証試験 その3）

カシノナガキクイムシ（以下、カシナガ）の羽化脱出から1ヶ月余りが経過し、管内ではナラ枯れの被害が確認されるようになってきたため、8月1日に試験地における穿入の途中経過を確認してきました。

フラス（オガクズのようなもの）が吹き出していたり、根元に溜まっている箇所にはカシナガが穿入しています。試験地により状況は異なりますが、各林分、丸太共にカシナガが集まってきています。

8月末には最終的な穿入数を調査する予定です。



6月12日にフェロモンを装着した立木



根元にはフラスが溜まっている



試験地内のフェロモンを装着していない立木



根元にはフラスが溜まっている



6月12日にフェロモンを装着した丸太



丸太の下にはフラスが溜まっている